

施策マネジメントシート(平成26年度の振り返り、総括)

作成日 平成 27 年 7 月 14 日

基本目標	Ⅲ	交流による魅力と活力にあふれるまち	主管課	名称	まちづくり交流課
				課長	宮崎 育雄
施策	22	交流連携の推進	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図
				①町外の人・団体	①町に魅力を感じ、まちづくりに協力する。	1 交流連携の強化
			2 交流連携機会の創出	町外の人・団体	町に魅力を感じ、往来を開始する。	
			3			
			4			
			5			

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	連携協定を締結している団体数	団体	実績値	3	4	4	4		
目標値					4	4	5	5	5	
B	友好協定を締結している団体数	団体	実績値	3	4	6	6			
			目標値		4	4	5	5	5	
C			実績値							
			目標値							
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 連携する団体が増えれば交流が増加するため成果指標とした。
 B) 友好都市や友好協定などの団体が増えれば交流が増加するため成果指標とした。

目標値設定の考え方

A) 連携協定を締結している団体数
 交流連携を積極的に展開することで、平成26年度を目安に1団体増やす。
 B) 友好協定締結団体数
 交流連携を積極的に展開することで、平成26年度を目安に1団体増やす。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①交流事業に積極的に参加し、交流相手に町の魅力をPRする。 ②交流事業をきっかけに知り合った相手や団体と交流を続ける。	①町民や町内の団体に交流する機会を提供し、交流事業を支援する。 ②交流を通じてまちづくりを積極的に進める人材を育成し、人的ネットワークを構築する。 ③友好協定等を締結する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①東日本大震災などの経験を踏まえ、主に都市部において交流連携に対する需要が高まっている。 ②都市部の自治体は、保有の保養施設等の利用形態から、民間の施設を利用する傾向がある。保有する施設を閉鎖及び処分する傾向がある。 ③群馬県の動きとしては、東京23区を中心とした首都圏と県内の市町村を結びつけ、災害時の連携や地域の活性化に結びつける活動をしている。 ④インバウンドを目的とした国際交流では、日本の各自治体が台湾をターゲットにしている。	①企業との連携事業に期待する声がある。人の交流や経済の活性化に期待している。 ②国内外を問わず、交流を進めてほしいとの声がある。 ③交流連携事業に参画したいとの声がある。 ④民間レベルの交流を進めてほしいとの声がある。 ⑤国際交流分野では、新たな交流先を開拓するべきとの声がある。

施策	22	交流連携の推進	主管課	名称	まちづくり交流課
				課長	宮崎 育雄

		実績比較	背景・要因
施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①連携協定を締結している団体数は、平成25年度4件と同数である。 ※団体名と協定締結年度 東京藝術大学(平成20年度)、株式会社デサント(平成23年度)、株式会社ドール(平成23年度)、三国コカ・コーラボトリング(平成24年度) ②友好協定締結団体数は、平成24年度4団体から平成25年度6団体となった。これは台湾「台南市友好都市協定」と「長榮大学友好協定」の締結による。 ※団体名と協定締結年度 さいたま市(平成16年度)、取手市(平成21年度)、聯合国際学院(平成22年度)、東京都中野区(平成24年度)、台湾 台南市(平成25年度)、長榮大学(平成25年度)
	② 他団体との比較	<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①企業との連携で先駆的な取り組みは、北海道が株式会社ローソンと「地域の安全・安心確保、『食』の振興等の協働事業を実施することなど」を目的に協定を締結している。 ②大学との連携は、沼田市では千葉大学園芸学部の農場が市内にあることから、連携前の動きがあり、川場村では東京農業大学と、村における地域活性化と同大の教育・研究の充実に寄与することを目的に包括連携協定が締結されている。聯合国際大学と平成25年度には長榮大学と友好連携が結ばれた。 ③近隣市町村における国内交流事業においては、川場村と世田谷区、昭和村と横浜市、沼田市と新宿区など、活発な交流事業が展開されている。 ④町は友好都市として国内でさいたま市、取手市及び東京都中野区の1区2市、及び海外で台南市の1市と、都市の施設設置から交流が模索される千葉市、川口市の2市があり、交流の水準は高い。 ⑤台南市との農業交流調査及び梅酒の市場調査
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①連携協定を締結している団体は4団体で、目標値を1団体下回った。 ②友好協定を締結している団体は6団体で、目標値を1団体上回った。 ③協定を締結している団体は合計10団体となり目標とおりの結果となった。
成果実績に対する総括	①企業との協働によるまちづくりを推進するため企業と連携する取り組みを継続している。 ②上下流交流での小松川パルプラザ物産交流、観光交流での伊奈町伊奈まつり、友好都市のさいたま市との農業まつり等、多数の交流イベントに参加し、みなかみ町の魅力をPRした(平成26年度44回)。これらを契機に町を訪れる人たちもいる。 ③平成21年度から始まった中国広東省珠海市聯合国際学院との交流は、弓道やスキー教室を通して展開し、平成24年度聯合国際学院のスキー訪日は実施なし(日中関係の悪化)、平成25年度に続き、平成26年度も実施した。 ④「みなかみ町芸術のまちづくり」事業は東京芸術大学と町民で芸術活動に取り組んでいる。平成26年度は絵画取扱講習会を3回三日間(参加者延べ18人)、収蔵作品の中からテーマを決めて企画展を実施(水紀行館)。同大学の卒業生及び修士生から制作作品の寄贈を受ける収蔵事業は、平成26年度末には4人4点増え、累計は106人で168点となった。 ⑤平成24年9月に調印した独自の交流制度「なかの里まち連携」に基づき、町の施設や教育旅行プログラムを紹介し小中学生の移動教室の増加誘致に務めた。高原千葉村を有する千葉市とは高原千葉村の譲渡について協議中であるが、平成26年度は修繕調査業務を委託実施し、報告書が提出された。 ⑥引き続き、職員1名を台湾台南市に送り、友好都市交流を一層進めた。		

		基本事業名	今後の課題	平成28年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1	交流連携の強化	連携協定及び友好協定による交流は、現在の交流を民間レベルに広めていくことが課題である。	連携事業を継続し、庁内組織を横断して、町内各種団体の参画を促す。
	2	交流連携機会の創出	交流連携をより推進するには、民間レベルでの文化交流や経済交流の機会を増やすことが課題である。	連携協定、友好協定を締結している団体との文化交流、経済交流事業を活発化させる。 企業との連携事業については、その一部は平成27～28年度にかけて協定期間が終了するため、その後の連携に向けて協議するものとする。
	3			

22 交流連携の推進

22-01-000001 友好都市交流事業		担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	16,632,363円					
		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	8交流推進費		
事業概要	手段と実績	■友好都市交流・埼玉県さいたま市(浦和まつり、区民まつり、ふれあいフェア、農業祭)、茨城県取手市(河川まつり、とりで利根川大花火)、東京都中野区(花と緑の祭典、里まちマルシェ、にぎわいフェスタ、モニターツアー)、台湾台南市(マンゴーマ祭り、友好都市調印関係イベント) ■上下流交流・東京都江戸川区(パルプラザお中元セール) ■その他都市交流・埼玉県伊奈町(ハマまつり、伊奈まつり)			友好都市等団体数			交流団体との交流による情報交換ができるようにする。				
		交流事業数	平成25年度	平成26年度	単位	交流団体数	平成25年度	平成26年度	単位	交流事業数	平成25年度	平成26年度
			16	15	回	6	6	団体		16	15	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性	コスト		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			
	全体総括	交流事業、特に新規友好都市との関係は、事業全体の流れが安定し信頼関係が構築するまで行政が中心となり進めるが、なるべく早い時期に民間レベルでの交流が活発化する環境を整えることが必要である。	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	①民間団体や町民が参加した場合の費用弁償や保険の取り扱いをどのようにするかが課題となる。 ②人と人との交流が前提であり、担当者が不在となる時間が多くなるのは好ましくない(嘱託員は勤務時間が制限されている)					

22-01-000002 利根川・江戸川流域交流事業		担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	151,660円					
		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	8交流推進費		
事業概要	手段と実績	小松川パルプラザ・なぎさニュータウンの夏祭りイベントへの参加、全国川サミットへの参加			小松川パルプラザ、なぎさニュータウンの住民及び地域住民(現在はパルプラザのみとなっている)			みなかみ町の魅力PR、農産物の販売によって本町に興味を持ってもらう。				
		イベント等への参加回数	平成25年度	平成26年度	単位	交流団体数	平成25年度	平成26年度	単位	イベント等への参加回数	平成25年度	平成26年度
			1	1	回	1	1	団体		1	1	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性	コスト		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			
	全体総括	現在の交流内容は、できることから始めたものであり、今後は民間同士への交流拡大など、より効果的な方法を模索する必要がある。物産交流実行委員会を設立したことにより、担当職員の時負担は軽減されてきている。今後は行政職員以外の町民が多く参加できる仕組みづくりが不可欠である。	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	民間交流を促進する上で、町民の参加をどのように推進するかが課題である。					

22-01-000003 東京藝術大学文化交流事業		担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	1,600,000円					
		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費		
事業概要	手段と実績	委託契約に基づき、委託料の支払いと実績報告書を受領			みなかみ町民			・芸術に対して関心を持つようになる。				
		事務時間	平成25年度	平成26年度	単位	町民(4月1日住民基本台帳)	平成25年度	平成26年度	単位	受講者人数	平成25年度	平成26年度
			18	25	H	21,285	21,905	人		35	26	人
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性	コスト		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下			
	全体総括	本年度については、企画展をはじめ、絵画取扱講習会、ワークショップを開催し、町民が芸術に触れ合う機会を創出できました。また、NPO奥利根芸術アカデミーへの委託料の削減、収蔵作品の買取の検討並びに今後10年を見据えた事業計画の立案を芸大と結めることができました。	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	・NPO奥利根芸術文化アカデミーへの委託料の削減に取り組み、減額することで同意しました。・次年度においては、東京藝術大学のノウハウを活用するため、地域と住民を限定し、地域、人、芸大、町が一体となり、芸術活動と情報発信を実践していくことにしました。・収蔵作品を買取事業とした。(1作品 10,000円)×最大3作品		特になし 課題とその解決策			

22 交流連携の推進

22-01-000004 交流推進車管理事業		担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	141,062円						
		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	8交流推進費			
事業概要	手段と実績	・車輛の予約、点検整備・都市間交流、上下流交流イベントへ参加時の特産品、農産物等の運搬			対象	交流推進車			意図	交流事業参加時などに、農産物や特産品を効率よく運べる手段を確保する。			
	運行日数	平成25年度	平成26年度	単位	交流推進車1台	平成25年度	平成26年度	単位		運行日程	平成25年度	平成26年度	単位
			33	34	回		1	1	台		33	34	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性	コスト			成果	削減	維持	増加
	全体総括	特になし			今後の改革改善案	行政職員以外の民間交流を促進する為に保冷車の一般貸出しを開始した。今後は貸出管理方法の改善が必要。			課題とその解決策		荷台(運搬物)の管理が課題。油種の積載不可など保冷車としての特性を維持した管理の徹底が必要。		

22-01-000005 自治体職員協力交流事業		担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	円						
		予算科目	会計		款		項		目				
事業概要	手段と実績	H24みなかみ町と友好協定を締結している中国広東省珠海市「聯合国際学院」から職員(教授)を招聘し、みなかみ町での研修を実施する。H25台南市との友好都市協定を締結するため職員1名を派遣する。			対象	H24中国広東省珠海市「聯合国際学院」H25台南市政府			意図	国際交流の推進			
	受入回数	平成25年度	平成26年度	単位	研修生人数	平成25年度	平成26年度	単位		受入回数	平成25年度	平成26年度	単位
			0	0	回		1	0	人		0	0	回
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性	コスト			成果	削減	維持	増加
	全体総括	19年の弓道交流をきっかけに始まった中国「聯合国際学院」を中心とした交流事業が現在では弓道・スキー等スポーツ交流、中学生派遣や利根商業高校との青少年交流、たくみの里職人派遣やホームステイ事業等の文化交流に発展してきており確実に拡大している。また交流拡大に伴い町民の方々からさまざまな意見も寄せられるようになり、教育分野、産業交流分野での更なる展開が求められた背景から職員交流を実施したが、H24年10月の尖閣諸島問題を発端とした日中関係悪化から今後の中国との交流は見直しを迫られる可能性が高い。新たな交流先とし			今後の改革改善案	海外からの受け入れは24年半年度事業のため改革改善案は無い。H25台南市へ職員の派遣は、必要に応じて実施。期間や時期は要検討。			課題とその解決策		海外からの受け入れは24年半年度事業のため改革改善案は無い。H25台南市へ職員の派遣は、必要に応じて実施。期間や時期は要検討。		

22-01-000006 地域間交流事業補助金交付事業		担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	543,000円						
		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	8交流推進費			
事業概要	手段と実績	申請の相談、書類受付、補助金の交付			対象	交流活動を推進する団体			意図	友好都市交流の推進、上下流交流の促進、その他町外交流事業			
	補助件数	平成25年度	平成26年度	単位	助成団体	平成25年度	平成26年度	単位		交流事業の件数	平成25年度	平成26年度	単位
			3	3	件		3	3	団体		3	3	件
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性	コスト			成果	削減	維持	増加
	全体総括	各助成金との連携を検討する必要がある。			今後の改革改善案	他助成金との連携が必要。			課題とその解決策		各助成金との連携を検討する必要がある。		

22 交流連携の推進

22-01-000007 国際交流事業		担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	2,068,185円													
		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	8交流推進費										
事業概要	手段と実績	中国珠海市「国際国際学院」との学生交流は継続。国際交流活動を推進する為「多文化交流サロン」に国際交流委員も引き続き配置。台南市との交流を深めるため職員を派遣すると共に、イベントなどに参加。			対象	・交流事業に参加した町民。・みなかみ町民との交流を求めて訪れた人々。(弓道交流28人、スキー交流11人、マンゴー祭り15人、多文化交流サロン200人)			意図	異なる文化、言語、習慣を理解できるような交流事業を行う。										
		交流回数	平成25年度	平成26年度		単位	交流回数	平成25年度		平成26年度	単位	交流回数	平成25年度	平成26年度	単位					
			7	7	回		250	254	人		7	7	回							
評価結果と今後の方向性	全体総括	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
		中国「国際国際学院」を中心とした交流事業が現在では弓道・スキー等スポーツ交流、中学生派遣や利根商業高校との青少年交流、たくみの里職人派遣やホームステイ事業等の文化交流に発展してきており確実に拡大している。但しH24年秋からの日中関係悪化により中国との交流は縮小傾向。反面、同じ中華アジア圏ではあるが親日風土が濃く、経済も安定している台湾との交流拡大を期待する声が大きくなっている。		国際交流担当課だけでなく、青少年交流の教育委員会、観光振興担当課の観光課、教育旅行誘致での観光協会、また産業分野において民間企業との連携により一層の成果向上を見込むことが出来る。			交流の拡大が観光振興に繋がるケースが多い為、初動の時点での観光分野との連携方法が未成熟である。また民間との連携における役割分担と事業費負担の明確化が必要。													

22-01-000009 スポーツ・健康まちづくり推進事業		担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	22,794,007円													
		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	9産業政策費										
事業概要	手段と実績	①プロジェクトの具体的な事業を展開する。→デサント藤原湖マラソン・その他スポーツイベントの実施→すこやかキッズスポーツ塾などの健康教室→ドールランドみなかみを拠点とした食育教室等→ぐんま名月(りんご)・水月夜(米)のテストマーケティング→みなかみハピネス計画をPRする。			対象	①町民②関連企業			意図	・事業への参加、協力										
		事業数	平成25年度	平成26年度		単位	町民数(4月1日住民基本台帳)	平成25年度		平成26年度	単位	参加町民数	平成25年度	平成26年度	単位					
			9	9	事業		21,285	21,905	人		220	250	人							
評価結果と今後の方向性	全体総括	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
		新たなスタイルでスタート事業であり、正確な事後評価はまだ困難である。しかし、事前評価のとおり、企業等とのコラボレートによる事業の展開は、企業のノウハウ・ネットワーク等を効果的に活用することが可能で、これまでの行政サービスの質を確実に向上させることができる。また、関連づけできる事業もまだまだ未知数であることから、この事業による施策や事業の成果を多岐にわたり向上させることが可能である。		行政サービスと企業側のCSR活動充実等の接点及び協働による相乗効果を見出しながら事業を展開する必要があることから、このプロジェクトと関連させることで、より効果を発揮できる事業の選定やプランニングが重要になる。また、限られた予算の中で何をすべきかという、事業展開の優先順位を明確にすることも重要となる。今後は、ますます活動量を増やし、関連企業、関連事業を増加させ、より多くの行政サービスに企業等のノウハウやネットワークが活用できる仕組みづくりと成功事例づくりが必要となってくる。			小さくても地味でもいいから、成功事例を残し、そのプロセスで得た経験を次の事業に活かしていくというサイクルを、多く早く回していくことが重要である。また、その成功事例を当セクションだけでなく、事業担当セクションにおいても共有し、みなかみハピネス計画で実施する事業の価値を組織全体で高めていく必要がある。また、企業に対して町が提供すべきサービスをどう魅力的にプレゼンテーションできるかということも重要になるため、事業を展開するにあたって、決して受け身になるのではなく、企業を説得して事業をプランニングするというスタ													

22-02-000001 町のうた推進事業		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	43,200円													
		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	7地域振興費										
事業概要	手段と実績	・みなかみ町PR委託事業 みなかみ花火大会、藤原湖マラソン大会において、町のうたを通してPR活動を実施した。・駅発車ベル事業「ふる里みなかみ」オルゴール版を水上駅、後閑 駅の発車ベルとして流した。			対象	町のうた			意図	①町民に覚えてもらうことにより、愛郷心を高めてもらう。②うたを通して、みなかみ町の魅力を全国に発信する。										
		PR活動の回数	平成25年度	平成26年度		単位	町のうた(町歌)	平成25年度		平成26年度	単位	町のうたを知っている町民	平成25年度	平成26年度	単位					
			3	2	回		2	2	曲		90	90	%							
評価結果と今後の方向性	全体総括	廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
		歌手の後援会事務局は商工会に移管され、平成26年度は親善大使事業、駅発車ベル事業のみ実施した。回数は少なかったが、全国から参加者が集まる藤原湖マラソン大会でPR活動を実施できたので、効果あった。しかし、とりで河川祭は悪天候により中止となったため、PR活動を行えなかった。		町内への普及という点では、概ね目標を達成したが、町外への普及は進んでいない。今後は観光イベントや交流イベントに絡め、歌を媒体にして全国にみなかみ町をPRしていく。			親善大使を使ったPRイベントは費用が掛かるといった問題がある。解決策の一つとして、別の媒体を利用して、うたを広めていくことが考えられる。													

22 交流連携の推進

22-02-000002 利根川源流のまち啓発事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 0円							
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 8交流推進費											
事業概要	手段と実績	E-ポートによる交流			対象	E-ポート			意図	E-ポートの活用					
		E-ポート大会の開催数	平成25年度	平成26年度		単位	E-ポート購入艇数	平成25年度		平成26年度	単位	E-ポートの活用艇数	平成25年度	平成26年度	単位
			1	1			0	0		3	3				
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	地域資源のダム湖においてE-ポートを活用した交流の成功事例を多く作りたい。			今後の改革改善案	E-ポートの適切な管理を行い有効活用を図る。			課題とその解決策	E-ポートの管理運営を委託する。その団体と規約制定。					

22-02-000003 地域連携事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 2,860,075円							
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 8交流推進費											
事業概要	手段と実績	①北関東・新潟地域連携推進協議会への参加、首長懇談会への参加 ②友好都市、上下交流事業イベントでの物産販売			対象	①北関東・新潟地域連携推進協議会 ②物産交流実行委員会			意図	①加盟団体との交流を深め情報を共有する ②みなかみ町のPR、農産物の販売によって本町に興味を持ってもらう					
		北関東・新潟地域連携推進協議会(イベント)参加回数	平成25年度	平成26年度		単位	北関東・新潟地域連携推進協議会加盟自治体数	平成25年度		平成26年度	単位	イベント等への参加回数	平成25年度	平成26年度	単位
			1	1	回		19	19	団体		1	1	回		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	関越地域連携協議会は地域連携の方法として視点をええれば脱退することも可能。			今後の改革改善案	関越地域連携協議会との関わりをどこまで行いどのような状況を望むか。			課題とその解決策	新潟県地域のつながりをどのように考えるか。					

22-02-000004 全国源流の郷協議会参画事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 211,120円							
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費 目 7地域振興費											
事業概要	手段と実績	全国源流サミット(奈良県川上村)の参加や首長サミット、全国源流の集い(交流会)、幹事会や総会等の出席。			対象	全国源流の郷協議会			意図	加盟団体との交流と連携を深め情報を共有する					
		幹事会・総会などの参加	平成25年度	平成26年度		単位	加盟団体数	平成25年度		平成26年度	単位	加盟団体との交流回数	平成25年度	平成26年度	単位
			1	2	回		16	16	団体		1	1	回		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="radio"/> 公平性			<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携			<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更			<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括	全国源流サミットに参加して、本町のまちづくりについて発表を行い、広くみなかみ町のPRを行った。			今後の改革改善案	協議会の活動に積極的に参加していく。			課題とその解決策	加盟団体は関西から九州まで点在しており、事業実施場所が遠隔地であることが多く、なかなか参加できない。					

22 交流連携の推進

22-02-000005 全国水源の里連絡協議会参画事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 10,000円			
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費		目 7地域振興費					
事業概要	手段と実績	総会の開催、情報誌「水の源」の発行、シンポジウムの協賛、新たな過疎対策についての政策提起			対象 全国水源の里連絡協議会			意図 加盟団体との交流と連携を深め情報を共有する会報への情報提供			
		加盟団体数	平成25年度	平成26年度	単位	加盟団体との交流	平成25年度	平成26年度	単位		
評価結果と今後の方向性		引き続き加盟する。			特になし			課題とその解決策 特になし			
全体総括											
廃止・休止等		× 目的妥当性		× 有効性		× 効率性		○ 公平性		コスト	
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	

22-02-000006 地域に開かれたダム全国協議会参画事業				担当組織 総合政策課 企画グループ				事業費 20,000円			
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費		目 7地域振興費					
事業概要	手段と実績	総会への参加と負担金の支払った。			対象 「地域に開かれたダム」全国協議会			意図 加盟団体との交流と連携を深め情報を共有する			
		加盟団体数	平成25年度	平成26年度	単位	加盟団体との情報交換	平成25年度	平成26年度	単位		
評価結果と今後の方向性		地域に開かれたダム全国協議会への参画事業であり、ダムを持つ自治体として情報共有などを行っている事務事業である。			今後の改革改善案 地域に開かれたダムとは、相保ダムを対象としており、利根川ダム統管は、平成23年度に藤原ダムを「地域に開かれたダム」に指定する意向があったが整備方針が定まらず、その後進展はしていない。			課題とその解決策 現在は活発な事業を行っている状態とはいえないが、今後もダムを持つ自治体として参加していく。			
全体総括											
廃止・休止等		○ 目的妥当性		○ 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト	
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	

22-02-000007 利根川源流水源地域ビジョン事業				担当組織 まちづくり交流課 地域振興グループ				事業費 1,604,040円			
予算科目 会計 一般会計 款 2総務費				項 1総務管理費		目 7地域振興費					
事業概要	手段と実績	推進協議会・支援協議会(1回)、事務局会議(2回)の開催、各地区懇談会(5回)各活動団体への支援(奥利根地域)奥利根ダム見学会、かまくら&キャンドル、秋の健康ハイキング、水源地探訪(相保・猿ヶ京地区)赤谷湖畔の景観・環境整備 モニターツアー、Eポート大会、新緑こいのぼり			対象 ダム周辺地域の活動団体ダム周辺地域での活動数			意図 水源地域の活性化			
		協議会などの開催	平成25年度	平成26年度	単位	各ダム周辺地域の活動団体数	平成25年度	平成26年度	単位		
評価結果と今後の方向性		特になし			今後の改革改善案 ダム水源地域の自立的・継続的活性化の為にどう事業展開するべきか、国、コンサル等と協議をする必要がある。			課題とその解決策 水源地域ビジョンを推進する上で国に対して予算を確保することが求められる。また、コンサルに委託している予算を町に一括交付金(補助金)としてイベント助成してもらう方法を協議することも考える。			
全体総括											
廃止・休止等		× 目的妥当性		× 有効性		○ 効率性		○ 公平性		コスト	
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 ○ × ×	

22 交流連携の推進

22-02-000008 地域活性化センター参画事業				担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	70,000円			
				予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	7地域振興費
事業概要	手段と実績	①地域再生実践塾の開催、②地域活性化情報メーリングリスト作成、③情報誌の発行、④情報誌への寄稿		対象	地域活性化センター			意図	地域活性化センターと交流を進め、多くの地域活性化に関する情報を収集する			
			平成25年度		平成26年度	単位			平成25年度	平成26年度	単位	情報提供の回数
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト			
		引き続き加盟し、情報を受けるだけでなく活性化に結びつくような事業に参加していく。		特になし		特になし		成果		向上		

22-02-000009 高原千葉村施設等調査事業				担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	2,662,341円			
				予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	8交流推進費
事業概要	手段と実績	①コンサルタント会社の選定業務②コンサルタント会社との連絡調整③高原千葉村との連絡調整④千葉市役所との連絡調整⑤調査特別委員会の報告書作成事務⑥存続対策委員会への参加		対象	高原千葉村			意図	①修繕費用の算出②譲渡後の維持管理費・事業運営費の算出③譲渡後の年度別事業計画・財政計画の策定			
		施設調査の回数	平成25年度		平成26年度	単位	青少年自然の家建築面積		平成25年度	平成26年度	単位	報告書の納品
評価結果と今後の方向性	全体総括	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し	<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更	<input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化			コスト			
		今後は基本設計等のより詳細な調査が必要となってくるが、譲渡を受ける第一歩として、今回の調査業務が行えたことは大きい。		調査委託業務を実施したことで、譲渡を受けた場合にどれほどの修繕費がかかってくるのか、どういった運営方法をとればよいのか、どれだけの経費がかかるのか等、展望が見えてきた状態である。今後は平成29年4月1日の譲渡期限に向けて、さらに突っ込んだ設計等業務を行っていく必要がある。		一番の問題は、未だ確定していない修繕費用を誰が、どのように支出するかという点。また、もう少し先の課題となってくるが、当該施設を誰が管理・運営するのか、町が直営となるのか、指定管理者制度(地元運営会社等を設立したうえで)を導入するのも大きな問題となってくる。		成果		向上		